

原発ゼロ！子どもたちに安全な未来を

日本共産党中央区議会議員

奥村あきこ レポート



ブログもご覧ください

『奥村あきこ』で検索！



奥村あきこ事務所 中央区月島1-24-2
電話03-3531-7136
区議団控室 電話03-3546-5575
中央地区委員会 電話03-3551-6820

中央区議会議員選挙 日本共産党4人全員当選

平和とくらしを守るため がんばります



街頭で選挙結果の報告をする区議団と田辺区長候補。左より加藤議員、田辺区長候補、私、小栗議員、志村議員（4月27日）。

4月26日に投票された区議会議員選挙で、日本共産党は4名全員が当選しました。今回の選挙で、4年前と比べ、得票数・得票率ともに伸ばしたのは日本共産党だけでした。日本共産党は、今回の選挙で、安倍政権がすすめる「戦争する国づくりストップ」を掲げ、私

も、子を持つ親として「子どもたちを戦争に送るような国にしてはいけない」と街頭で精一杯訴えました。

また、「区民の願いは後まわし、その一方で巨大開発に1年間の区の予算の1割にあたる90億円を投入する税金の使い方改めよう」「区がため込んだ400億円の税金（基金）は区民のために使おう」と5つの緊急提案をはじめとす

る公約を掲げてたたかいました。こうした私たちの訴えに「安倍首相は恐い。共産党がんばれ」「くらし・福祉を優先させて」と共感が広がりました。日本共産党区議団は、託された願いにこたえるため、これからも全力でがんばります。区長選挙では、日本共産党推薦の田辺七郎さんが、前回と比べ得票を4割近く伸ばしましたが、当選には至りませんでした。

中央区長選挙の結果

候補者名	得票数	得票率
田辺七郎	4,806	9.96
当 矢田よしひで	22,376	46.36
こんの弘美	13,016	26.97
高橋しんじ	6,850	14.19
梅原よしひこ	1,220	2.52

中央区議会議員選挙の結果

日本共産党

	得票数	
	今回	前回
おぐり智恵子	1,468	990
志村たかよし	1,137	1,028
奥村 あきこ	1,555	1,138
加藤 ひろし	965	814



党派別得票と議席

	当選者数		得票数		得票率	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
日本共産党	4	4	5,125	3,970	10.51	9.16
自由民主党	12	12	16,881	15,995	34.6	36.8
公明党	4	5	5,262	6,078	10.8	14.0
民主党(推薦含む)	3	3	3,053	3,951	6.26	9.10
維新の党	2		3,080	631	6.31	
諸派・無所属	5	6	15,371	13,412	31.5	30.9
	30	30	48,772	43,406	100	100

憲法破壊は許さない

ストップ! 「戦争立法」

自民党、公明党は5月11日、

国会内で「安保法制」Ⅱ「戦争立法」に関する与党協議会を開き、全条文について最終合意しました。安倍首相が米国訪問で誓約した「夏までの成立」を押し切ろうとしています。

3つの重大問題

① 自衛隊を、これまで禁じられていた「戦闘地域」にまで派兵し、軍事支援Ⅱ戦争行為を行なえるようにします。敵と見なされ攻撃され、応戦すれば、戦

闘状態になってしまいます。

② 「停戦合意」はあるものの、なお動乱が継続しているところにも自衛隊を派兵、治安維持活動などが可能になります。

アフガニスタンでの国際治安支援部隊（ISAF）では約3500人も死者が出ています。

③ 日本が武力攻撃されていなくても、集団的自衛権を行使し、自衛隊が米国とともに海外で戦争に乗り出すこととなります。行使の判断は、ときの政権まかせです。米国が国際法違反の

「産経」4/28付
憲法「改正」



「朝日」5/2付
9条「改正」



図表は「しんぶん赤旗」より

先制攻撃をし、反撃された場合の行使も否定していません。

世論は反対が多数派

安倍政権の憲法破壊の暴走は、国民との矛盾をいっそう深めています。

実際、世論調査では「戦争立法」強行にも、憲法改定にも国民多数が反対しています（上図）。

「産経」の調査では、「全体でみると2013年4月には6割を超えていた賛成は徐々に減り、昨年3月には反対が賛成を上回る結果に。その傾向は今回も続いた」としています。

国民共同で阻止しよう

「戦争立法」は、「国民の命を守る」ためのものではありません。アメリカが世界で起こすどんな戦争にも自衛隊を参戦させ、軍事支援させようとするも

日本共産党 Q&A



Q: 「共産党は何でも反対」「予算に反対しているから実績がない」?

A: 日本共産党は、住民の要求を予算へ反映させるために努力する一方、予算の中身が住民の利益に反するものであれば、反対するのは当然です。また、住民要求をとりあげ、住民と力をあわせて予算に反映させたものを「実績」と呼ぶのも当然です。

のです。憲法9条を破壊し、日本の国のあり方を根底から覆し、「海外で戦争する国」にすることは許されません。「戦争立法」反対の一点で、党派や立場の違いを超えて共同し、圧倒的な反対世論をこいつしよにつくっていきましょう。